

第 13 回大会@北海道大学の報告と第 14 回大会@名古屋大学の日程案内

2016 年 5 月 14～15 日、第 13 回全国大会が、木々の新芽やタンポポなど草花の美しい北海道大学で開催されました。参加人数は 70 名あまり、初日午前中の自由研究発表から多くの参加者がありました。

午後には総会が開催され、活動報告・活動予定や決算・予算の総会議案が承認されました。第 4 回田中昌人記念学会賞の授賞式もありました【写真】。

菊池一春氏（訓子府町長）、三上直之氏（北海道大学准教授）、黒瀧秀久氏（東京農業大学教授）をお招きしてのシンポジウムは、大会テーマ「若者、地域とともに育つ大学～北海道から考える～」にふさわしい充実した内容でした【写真】。詳細は、夏に刊行予定の年報第 12 号に収録されます。その後の懇親会には、40 名もの参加がありました。



二日目は、4 つの分科会（第 2＝大学評価の実践と大学経営、第 3＝発達保障、第 4＝教職協働、第 5＝高校教育・高大連携）において熱心な討議が展開されました。最終の総括討論を含めて、次号通信（第 42 号）において報告の予定です。

なお、次回第 14 回全国大会は愛知@名古屋大学にて、2017 年 3 月 11～12 日の予定で開催されます。

（文責：渡部）